

第5学年 学級活動（1）指導案

指導者

1. 日時・場所 令和5年6月
2. 議題 「一年生と笑顔になる集会をしよう」
3. 評価規準

| よりよい生活を築くための知識・技能 | 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 |
|---|---|---|
| みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。 | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。 | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。 |

4. 議題について
(1) 児童の実態

入学したときから2クラスの学年で、子供たち同士の結び付きは強い。学年目標には、一人一人の個性が認められ、美しく咲きほこれるように、そして学校全体を高学年として華やかに彩れるような学年にしていきたいという思いが込められている。この学年目標を受け、自分たちはまだ花を咲かせていない種だと捉え、努力をして芽を出し成長していこう、笑顔があふれる1年にしていこうという思いを込め、学級目標とした。係活動が活発に行われており、クラスを笑顔にしよう工夫を重ねている。その取組を互いに認め合うことでさらに活動への意欲が高まっている。運動会では、高学年として学校全体を盛り上げようと、応援団や運動係等、自分の役割をしっかりと果たすことができた。

第一回の学級会では、「四・五月の誕生日集会をしよう」という議題について、話合いのめあてである「みんなと協力し合ってもっと仲良くなれる遊びを考えよう」を意識して時間内に合意形成を図ることができた。集会後の振り返りでは、六月以降も誕生日会を開きたい、もっと笑顔になれるような集会を考えたいといった感想があり、学級会でしっかりと話し合い、決まったことにみんなで取り組むことのよさを感じている児童が多い。第二回目は、運動会後に「運動会がんばったね会をしよう」という議題について話し合い、「プチ運動会」と「がんばったねカード」の交換を行い、楽しみながら、みんなの頑張りを認め合い、来年に向けての気持ちを高めることができた。

(2) 議題選定の理由

一・二回目の学級会では、クラスのみんなが笑顔になる集会を考え、実践することができた。その笑顔の輪を学校全体に広げていくために、異学年交流をしたいという声があがった。本校ではたてわり班での活動があり、5年生は6年生のサポートをする。サポートをするために、他の学年の友達のことを知り、仲を深めておくことが大切になってくる。運動会を終え、初めての運動会で一生懸命がんばる様子を見て一年生に一層興味をもち、もっと関わりたいという思いを強くもっている。一年生が学校生活をより楽しく過ごせるように高学年として何かできることはないかと考えることが、今年の学級目標を達成することや来年最上級生になり学校全体をまとめていくことにもつながる。今回の一年生との交流をきっかけに、他の学年とも関わる機会を継続的に行っていけたらと考えている。

一年生が楽しめるようにするためには、これまでより一層相手の気持ちを想像し、工夫していく必要がある。この議題について話し合いを行うことで、自分にとっても相手にとってもよい方法を考えることがさらにできるようになることを期待している。

一・二回目は、みんなで楽しむことができるように安全面に配慮したり、複数の意見を組み合わせるより多くの人々が納得できるようにしたりと、めあてを意識して話し合うことができた。しかし、実践するときには計画通りに集会が進まなかったり、準備に取り組む姿勢にばらつきがあったりという課題が見えてきた。今回は、前回のよかったことは継続しつつ、課題となっていた時間配分や役割分担についても詳しく考えることができるように促していきたい。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

| 活動の場 | ・児童の活動 | ○指導上の留意点 | ☆目指す児童の姿【観点】 (評価方法) |
|--------------|-----------------------------------|--|--|
| 5月下旬 中休み | ・議題箱に「一年生と仲よくなる集会をしたい」等の思いが寄せられる。 | ○事前に話し合い活動の意味について確認し、どんな学級にしていきたいのか考えて意見を入れるよう促しておく。 | ☆アイデアを議題箱に入れて、よりよい学級生活をつくらうとしている。 【主体的態度】 (観察) ☆寄せられた議題案の中から今の学級にふさわしい議題を選んでいく。 【思考・判断・表現】 (観察) ☆話し合いの進め方について理解している。 【知識・技能】 (観察・学級会ノート) |
| 6月 日 中休み | ・計画委員会で議題ポストの議題を確認し、議題を選定する。 | ○寄せられた議題の中から教師と一緒に議題を選べるようにする。 | |
| 6月 日 中休み | ・計画委員会で、めあてを決める。また、役割分担を行う。 | ○今回の学級会では何を大切にして話し合うのかを計画委員と一緒に考える。 | |
| 6月 日 帰りの会 | ・学級会で話し合う議題と提案者の思いを学級全体に伝える。 | ○話し合う内容や提案者の思いを伝え、思いを共有できるようにする。 | |
| 6月12日 朝の会 | ・自分の考えを学級会ノートに記入する。 | ○一人一人が自分の考えをもて学級会に参加できるようにする。 | |
| 6月 日 中休み | ・計画委員会で、学級会の進め方を確認する。 | ○学級会ノートに書かれた意見を確認し、話し合いの場面をイメージできるようにする。 | |

(2) 本時の活動

①ねらい 一年生と笑顔になれる集会の内容を話し合って決めることができるようにする。

②活動計画

| 話合いの順序 | ○指導上の留意点 | ☆目指す児童の姿 【観点】(評価方法) |
|--|---|---|
| <p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認 「一年生と笑顔になる集会をしよう」</p> <p>4. 提案理由の確認 「クラスだけでなく、学校のみみんなを笑顔にするために楽しい集会をしたいと思いました。入学してから二か月経っていますが、まだ一年生のために何もできていません。この集会を通して、もっと学校を楽しんでもらいたいと思い、提案しました。この集会がうまくいけば、たてわり班での活動のときに、六年生をサポートするのも役立つと思います。」</p> <p>5. 話合いのめあての確認 「一年生も自分たちも笑顔になれる集会を開こう。」</p> <p>6. 決まっていることの確認 日時：6月 中休み 多目的教室 活動は一つ</p> <p>7. 話合い ①出し合う(事前) ②くらべ合う ③まとめる</p> <p>8. 決まったことの確認</p> <p>9. 話合いの振り返り</p> <p>10. 先生の話</p> <p>11. おわりの言葉</p> | <p>○進め方などでつまずいたときには、近くで助言する。</p> <p>○本来ならば「何をするか」「どんな工夫ができるか」「役割分担」の三つの内容について話合いを行うが、児童の実態により、話し合うことは一つとする。</p> <p>○話合いのめあてからそれた場合は、めあてを再度確認するよう声を掛ける。</p> <p>○「仲よくなる」とは、具体的にどうということなのかを共通理解しておく。</p> <p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話合いが行き詰まってしまったときには助言する。</p> <p>○友達のことを想像し、そこに寄り添って聞こうとしたり、相手に応えるために自分の思いを伝えようとしたりする姿を見取り、本時や事後の活動などに生かせるようにする。</p> <p>○司会グループのがんばっていた点、めあてや友達を意識した意見や態度などを見付けて称賛し、意欲をもって実践できるようにする。</p> | <p>☆計画委員として司会や記録などの役割を果たして話合いを進めている。 【思考・判断・表現】 (観察)</p> <p>☆友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考えて話合いに参加している。 【思考・判断・表現】 (観察・学級会ノート)</p> |

③本時の視点

・話合いのめあてを意識して話し合うことができていたか。

④板書計画

第三回 五年組 学級会
はじめの言葉

議題
一年生と笑顔になる集会をしよう。

提案理由
クラスだけでなく、学校のみんなを笑顔にするために楽しい集会をしたいと思います。入学してから二か月経っています。この集会を通して、もっと学校を楽しんでもらいたいと思います。提案しました。この集会がうまくいけば、たてわり班での活動のときに、六年生をサポートするのにも役立つと思います。

めあて
一年生も自分たちも笑顔になれる集会を開こう。

話合うこと(何をするか)

決まったことの確認
ふりかえり
先生の話
おわりの言葉

「笑顔になる」ために…

- ・名前を覚える
- ・好きなことの話をする

決まっています

【日時】
六月
中休み 多目的教室
活動は一つ

(3) 事後の活動

| 活動の場 | 児童の活動 | ○指導上の留意点 | ☆目指す児童の姿【観点】〈評価方法〉 |
|------------|--------------------|--|---|
| 6月 朝の会 | ・集会の役割分担をする | ○これまでの経験を生かし、必要な役割を考えて全員で分担できるようにする。 | ☆役割分担に基づいて協力して準備を進めている。 【思考・判断・表現】〈観察〉 |
| 6月 中休み等 | ・役割毎に集会に向けて準備をする。 | ○準備の進捗状況を確認し、活動意欲が継続するよう声を掛ける。 | |
| 6月 中休み | ・「一年生と仲よくなる集会」を行う。 | ○集会のめあてを提示し、意識できるようにする。 ○振り返りでは、互いのよさを認め合えるような場にし、自分たちでつくることができたことを実感することができるようにする。 | |
| 6月 帰りの会 | ・振り返りを学級会ノートに書く。 | ○次にどんなことをしたいか、また今回の課題をどのように次に活かしていきたいかを、中心に考えられるよう助言する。 | |